

きりしま ストコ

霧島市 \ 移住応援 / ガイドブック

きりしまは、いろいろなカタチで住ん^す所^{とこ}よ。



ACCESS

羽田空港～鹿児島空港 約100分
 伊丹空港～鹿児島空港 約70分
 福岡～溝辺鹿児島空港インター 約3時間半
 熊本～溝辺鹿児島空港インター 約2時間



暮らしを全力で応援してくれる。そんな場所なら、移住生活はきっと楽しい。

[鹿児島県霧島市]

603.16
面積603.16km²(東京23区と同等)

100
水道水の水源は100%湧水・地下水

4
霧島温泉郷、霧島神宮温泉郷、妙見・安楽温泉郷、日当山温泉郷の4つの温泉郷があり、多様な泉質の温泉がある

0~1,700
錦江湾の海拔0mから、霧島連山の最高峰1700mまで豊かな自然に恵まれる

124,786
人口124,786人。鹿児島県では、鹿児島市に次ぐ人口(令和4年3月1日現在)

都会から遠いようで、とても近い霧島市。東京から最短で約100分、大阪からは最短で約70分の場所にあります。そんな霧島市は、県内外から移住を希望する方々を大歓迎！まちを挙げて応援しています。

例えば人。このまちを気に入る、このまちで暮らしたいと願う方のことを、霧島市民は放っておけません。温かく迎え、なにかと世話を焼いてくれることでしょう。

例えば制度。霧島市では、移住・定住に関するきめ細かな制度を設けており、目的にあわせた最適なプランで移住後の生活をスタートすることが出来ます。

「温暖な気候」「豊富な温泉」「海・山・川」と三拍子そろった豊かな自然。おいしい食べ物。きれいな空気と水。田舎なのに交通の利便性に優れている」とは、このまちに移り住んできた方々の言葉です。

新しい生活を、移住応援都市「霧島市」でスタートしてみませんか？

CONTENTS

#起業(お店).....	3	#リモートワーク #子育て.....	13
#就業.....	5	#地域おこし.....	15
#二地域居住 #子育て.....	9	霧島市でテレワーク!.....	17
#空き家バンク #起業.....	11	各種支援制度.....	18

移住・定住サポート

移住・定住・交流の推進を図るため、情報発信の充実強化に取り組んでいます。住環境、生活環境、観光、福祉、医療等の情報を一元化して提供できるワンストップ窓口を用意し、移住希望者に寄り添う体制を整えています。

移住者支援制度

霧島市の中山間地域(国分・隼人の市街地を除く地域)に住宅を新築、購入又は増改築した移住者(市外からの転入者と市街地からの転居者)に**最高50万円の補助金**を支給する制度を用意しています。

お試し滞在

移住を決める前の「お試し滞在」。霧島市では、移住に興味のある方を対象に、本市の魅力を知っていただくための体験研修(農業体験等)を年2回程度実施しています。



横川kito
白水 梨恵さん(霧島市横川町在住)

人がやさしい、空気がおいしい、自然が豊か
持ち味を活かすまちづくりを仕事に

まちの温もりに触れて
移住と起業を決意

2021年4月、JR大隅横川駅から数分の元商店街に築90年の古民家を活用したカフェ&ゲストハウス『横川kito』が誕生しました。空き家改修ワークショップとして、建築を学ぶ大学生が内装現場を体験したり、地域住民が知恵や人手を出したりと、約1年をかけてセルフノーベーション。その中心で動いていたのが、白水梨恵さんです。

「家族で霧島市に移住した当初は、市街地の国分エリアに住んでいました。仕事を通じて横川町の人たちと話す機会があったのですが、初対面から10分後には親戚みたいなトークになっていて(笑)。親しみやすい人柄だし、町のあちこちに歴史が息づいているし、すぐに大好きになりました。3人目の子供を出産後、個人でできる地域づくりをやってみよう」と一般社団法人横川

kitoを設立。横川町へ引っ越しました。

生まれるべくして
生まれた『横川kito』

白水さんは鹿児島市出身。大学時代に大分県別府市でまちづくりの活動に情熱を燃やし、霧島市に移住するまでの期間で人材育成やインターンシップのコーディネート、カフェスタッフなどの仕事を経験しながら、いつかは地域づくりを仕事にしたいと考えていたそう。そんな白水さんから見た横川町は、せっかくの良い素材を生かしていいないかと映ったようです。着目したのは、JR大隅横川駅前の商店街。日本最古の木造駅舎で人気がありますが、通りがガランとしているせいか観光客は駅舎や列車の写真を撮るとすぐに帰ってしまいます。

「ここで何かできないかと思いましたが、みんなが気軽に立ち寄って、

交流もできるような。それが『横川kito』です。物件探しに手間取りましたが、決定してからは地域住民の皆さんからの理解や応援をたくさんいただいたりして現在に至ります。

ワークショップを絡めたけれど、仕事の合間にDIYで少しずつ進めたので時間もかかって。町の人に、まだできないの?と心配されたこともあります(笑)。

改修の大詰めとなるワークショップには約40名が参加。オープン後に遊びにきた参加者が、自分が手がけた部分を愛おしそうに眺めたり、同行者に自慢したりする姿もよく見かけるそうです。時間はかかったけ

れど、その間に多くの人が愛着を
持てる場所に変化していったとい
うこと。

「横川kitoの完成までの道のり」と今の姿を見た人の中から、空き家再生に乗り出す人も出てきています。住民の方が居酒屋を始めた
り、明治時代の池田家住宅を活用
できないかと動きがあったり。横川
町はこれからもっと素敵になってい
くと思えますよ。」

あるものを大切に
新たな刺激をプラス

都会から田舎への移住、そして起



1 白壁と木製看板が目印。ガラス戸を開ける時の音や感触もノスタルジックだ。
2 約1年をかけ、多くの人の手仕事で整えられた店内。観光客だけでなく、地域の人がコーヒーを飲んでおしゃべりを楽しむ場にもなっている。
3 霧島市や県内各地から雑貨・食品などをセレクトした販売コーナー。
4 横川町に移住してから山好きになった白水さん。気軽に行けるえびの高原や高千穂河原がお気に入り。
5 まち歩きの前には、地元産食材を使った手づくりのカレーやスイーツで腹ごしらえを♪
6 2022年春に開業予定のゲストハウス。DIYやクラウドファンディングを活用して取り組んでいる。

横川 kito
霧島市横川町中ノ 991-2
TEL: 0995-73-3574



YONOGAWA.HITO

温泉やカフェに寄り道しながら帰宅する贅沢が日常の一部とはうらやましい限りです。現在、1階にショップやカフェが備わる横川kito。2階の部屋はゲストハウスとして改修し、2022年春に活用が始まります。

「次は、アートを軸にした展開を考えています。カフェで若手クリエイターの作品を展示・販売したり、ゲストハウスを拠点に観光する人に向けてアート体験を企画したり。自然と歴史と芸術に触れて、横川町だけでなく霧島市や近隣エリア全体の魅力に気づいてもらえるとうれしいですね。」



株式会社オーランド
井上 果歩さん／川畑 貴広さん／小島 佳織さん
(霧島市隼人町在住) (霧島市国分在住) (霧島市隼人町在住)

地域雇用 に注力する企業で 仕事もプライベートも充実した移住ライフ

霧島市を移住先に選んだ理由を教えてください

小島さん 夫の職場が霧島市にあったという縁もあり、結婚を機にこちらで暮らし始めました。

川畑さん オーランドへの転職がきっかけです。前職の会社は鹿児島市にあり、住居も鹿児島市。移住というより引越越した感じでしょうか(笑)。

井上さん 鹿児島市内の大学に通い、就活を経てオーランドに入社しました。やはり職場に近い方が便利なので、必然的に霧島市へ。

結婚や就職に伴う移住なんです。では皆さんが働いているオーランドはどんな会社でしょうか？

小島さん オリジナルサプリメントを販売するサプリメント事業、ECソリューション事業、サプリメント

では、生活の舞台となる霧島市の住みやすさについても聞かせてください

小島さん 移住する前に霧島市について調べたときの印象は、山が多い。でした。中山間地域のイメージが強かったので、便利さに驚いたほど。特に会社がある国分エリアは不自由ありません。

川畑さん 生活に必要なものがギュッと集約されているから住みやすいんですよ。あとパン屋さんが多い！私はデイクャンプが趣味で、屋外でまったり過ごす時間が大好き。山が注目されがちですが、霧島



小島佳織さん
2019年1月入社／
宮崎県出身／夫・子供1人



井上果歩さん
2019年4月入社／
長崎県出身／夫



川畑貴広さん
2021年2月入社／
鹿児島県出身／妻



1 川畑さんはWebページや販売促進などのデザインで使う商品を自ら撮影することも。2 部署間で連携&協力しながら業務を進めていくスタイルが確立されている。3 一人ひとりがチャレンジできる職場環境は社員の自慢のひとつ。4 開放的なロビーにはリゾートを思わせるパーカウンターが！リフレッシュや情報交換の場としても活用されている。

株式会社オーランド
霧島市国分野口東 1294 番 1
TEL: 0995-57-5031

小島さん 2歳半の子供が保育園に通っています。復職するまでは自治体や保育園が提供する支援センターを活用していました。イベント目的で一日に複数カ所をハシゴしたこと(笑)。よく顔をあわせるママ同士で仲良くなれたので、近くに友人・家族がいなくても安心感がありました。家族でよく遊びに行くのは城山公園。すぐ近くに自然がたくさんあって、伸び伸びとした子育てができると思います。ちなみに会社の産休・育休制度をしっかりと使い、時短勤務でワークライフバランスもバッチリです！



雅叙苑観光有限会社
金谷 千波さん(霧島市牧園町在住)

学生時代に築いたブレないつながりが 前向きなチャレンジの原動力

インターンシップでの 体験が移住の決め手に

海、山、川と表情豊かな大自然が身近にある霧島市。地域によって泉質が異なる温泉も人気で、点在する温泉街は観光の要にもなっています。2021年春に移住してきた金谷千波さんが牧園町で暮らすことになったのは、温泉旅館などを経営する地元の会社への就職がきっかけでした。金谷さんは東京都出身。観光業について学んでいた大学時代に、現在の勤務先である雅叙苑観光のインターンシップを利用して霧島市へ。「雅叙苑『天空の森』で約1ヶ月のプログラムを終えた後も、定期的に訪れて観光やリゾートについて学んだそうです。そのまま就職するかと思いきや、大学卒業して入社したのは埼玉県の人材支援を行なっている会社。

不便も不足もあるけど 自然も人情もある！

2021年1月に勤めていた会社を辞め、同年4月には雅叙苑観光に入社した金谷さん。動く決めてからの迷いが一切感じられません。霧島市には、学ぶ立場やゲストとして何度も訪れています。実際に仕事と生活を始めて大変なことはあったのでしょうか。

「関東圏と比べるとやはり賃金格差は否めません(笑)。店の閉店時

間が早く、仕事帰りにちょっとした買い物ができないとか、勉強のためにハイクラスのホテルを利用したくても近くには無いとか。欲しいモノ・情報をすぐに手に入れないもどかしさはあります。

でも、都心では絶対に手に入らない環境や時間、価値観があふれているので満足度も高いですよ。家の前から天降川が見えて、休日は日帰り温泉でまったり過ごして。最近は登山も始めました。プライベートな時間も満喫しています。

温泉では、地元の人のおしゃべりも楽しみの一つという金谷さん。鹿児島弁は、疑問形の語尾に

「け」を付ける場合が多いのですが(例…こあないけ?||これは何かな?)、年配者に限らず若い人でも「これ何ですけ?」と言ってしまいう傾向が。標準語がデフォルトの金谷さんですが、鹿児島弁の侵食能力は強く、いつの間にか「け?」と話しているそうですよ。

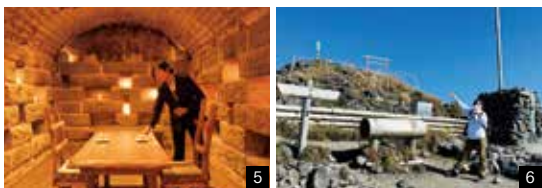
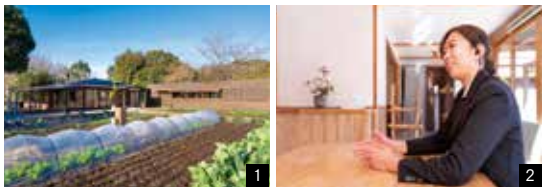
観光業界の視点から 地域の魅力を引き出す

配属先の『天空の森』では、社長の手配からフロント対応までもととは観光業といった理論に

関心があり、そうした視点で地域を見る機会も多いとか。

「それぞれが努力しているけれど、体系化されていないのでバラバラな印象。例えば、温泉街として一体感を出せる仕組みを確立できれば地域経済にも良い影響を与えるかも」とか考えちゃいます。いいものがあるのに、売り方が上手くない。ただ、私もまだ一部分しか見えていないので、今の仕事を通じて地域の魅力をもっと発掘し、発信できたらと思います。

常に自分の考えと向き合いながら、チャレンジを続ける金谷さん。最近では木工や野菜づくりなどにも



1 すすくくと育つ旬の食材が出迎える『天空の森』のエントランス。おもてなしに対する自由な発想は、金谷さんを惹きつける要因にもなった。2 「接客を通じて地域の魅力を伝えていきたい」。地元の茶農家へ直接話を聞きに行くなど、発信力磨きにも注力中。3 広い敷地の移動はカートが中心。お客様を乗せて眺めのいい場所を案内することも。4 おおらかな風景の中での食事や読書など、ここだけの時間を提供する舞台があちこちに。5 食事の際のサービスを含め、幅広い仕事をこなす。6 休日はあり余る自然を体感! 登山スポットや柳ヶ平散策路の夕景に魅了されているそう。

雅叙苑観光有限会社

【天空の森】霧島市牧園町宿窪田市来迫 3389
TEL: 0995-76-0777
【雅叙苑】霧島市牧園町宿窪田 4230
TEL: 0995-77-2114





年輪堂
新里 大輔さん / 新里 久美子さん(霧島市牧園町在住)

愛する地域をもっと楽しく！ つながりを築いて自分なりの貢献を目指す

ルーツを感じながら
暮らせる場所へ

かつて日本一と称されたお茶の
大木があった牧園町。現在は二代
目・霧島大茶樹の姿を地域の公園
で見ることが出来ます。公園内
には、霧島茶を中心としたメニュー
を楽しむこぢんまりとしたカ
フェ『年輪堂』があるので、
ここを開いたのは、2016年春
に大阪から移住してきた新里さん
ご夫妻なんです。夫の大輔さんは
生まれも育ちも大阪。ただお母様
が隣の始良市出身ということ、
幼い頃から鹿児島へ遊びにきてい
たそう。

「自然に囲まれた里山での生活
に対する思いが強く、いつか自分
のルーツがある場所で暮らした
い、と妻にも結婚する前から伝え
ていました。霧島市を選んだ決め
手は、歴史や自然が豊かで、都市
機能も程よく整っている点。大阪

にいるときに移住を見据えて、本
業である広告PRや企画、制作の
会社を立ち上げたため、大阪と移
住先の2拠点を行き来する必要が
あって、空港が近いのも魅力でし
た。」

大好きな里山の 魅力発信に注力

移住当初はリモートで業務を行
いつつ、月に1回ほど大阪出張と
いうスケジュール(現在は鹿児島
での仕事も行っていきます)。移住
した中津川地区では、自治会にも
積極的に参加。過疎が進む地域の
まちおこしに取り組み、子供たち
が通う小学校の山村留学制度や特
認校制度を活発化させるための行
動もスタートさせました。実は『年
輪堂』もそんなまちおこしの一環
です。

「カフェは中津川自治会の自主
事業として運営。霧島に遊びに

訪れた人や地域の人がつろぐ
のはもちろん、地域の情報を集
めて発信する場にする目的があ
ります。子供からお年寄りまで
の幅広い世代や、地域内外の人
が気負わず交流できる拠点とな
るのが理想で、経験を活かした
移住に関するアドバイスなども
できたらいいですね」。

中山間地域ならではの 環境を有意義に使う

移住して6年ながら、地域に対
する深い愛情が活動の原動力に

なっている新里さん。その愛情の
真ん中には、大好きな里山の暮ら
しを子供たちに残してあげたい、
との思いがあります。小学生から
高校生まで4人の子供を育てる親
として、育児環境について妻の久
美子さんに尋ねてみました。
「自然が多くて、伸び伸びと生
活できる環境が私たち家族には
フィットしていますよ。小学校は
全児童20名もいないせいか、一人
ひとりの自主性や人前で発言する
力が磨かれているような気が。大
阪でも生活していた上の子供は、
転校してから自分のこと以外も進

んで動くようになるなどの変化が
ありました」。
ただ、中山間地域を選んだこと
で自宅と学校が離れてしまい、車
での送迎が必要な場合も少なくな
いそう。それは大変かも？と思う
かもしれないが大輔さんと久美子さん
の子育て術。特に、親子がマンツ
マンになる車での移動時がコミュ
ニケーションを深めるチャンスだ
と言います。
「どうしても下の子供に手がか
かるので、家の中では上の子と
ゆつくり会話できない場合が多い

んです。中学生になった頃から、
私も夫も送迎の片道20分を使って
いろんな話をするように心がけて
います。最近では将来のこと、環境
のことなどの話をして、わが子の
成長を実感。とはいえ、盛り上が
る話題ばかりではないので大変な
ときもありますけど(笑)。
地域にしっかりと根を下ろし、
自分たちも周りも動かしながら
「誇れる故郷」を残そうと進む新
里さん。霧島市に興味を持った
ら、窓口の一つとして『年輪堂』
を訪れてみるのもいいかもしれま
せん。



1 カフェの顔とは別に、世代も地域も超えた交流&発信の役割も目指す『年輪堂』。2 厨房での息の合ったコンビネーションに、仲の良さが垣間見える大輔さんと久美子さん。3 「茶いっぺ」(鹿児島弁で、お茶を一杯飲みまじょうの意味)のおもてなしを感じる居心地のいい店内。4 有機栽培を行う地域の製茶会社の茶葉を中心にしたメニューを楽しむ。5 今後は茶器や霧島・牧園の工芸品なども取り扱っていく予定だ。6 天気の良い日は家族でトレッキングへ出かけることもしばしば。7 地域の小学校では全学年で米作りを学びながら育てている。

年輪堂 - 里山と茶と暮らし -

霧島市牧園町持松690-5(霧島大茶樹公園内)
TEL: 0995-55-1369



新里さんのブログ「日々霧島」

ヨソモノ目線を活かし、都市部では体験できない霧島ならではの魅力を紹介するサイト。地元の方々との触れ合いや日々の暮らしを記事にしています。



中津川小学校

霧島市牧園町上中津川1282
TEL: 0995-77-2429

特認校生・山村留学生 募集中!

中津川小学校では、特認校制度、山村留学制度を取り入れ、霧島市内および全国から児童を受け入れています。山と川に囲まれた自然豊かな里山で、のびのびと学んでみませんか。

特徴

- 1 茶摘み体験など校区の素材を活かした教育
- 2 できるまで、わかるまで、学べる環境
- 3 放課後も安心、校内児童クラブ





Reprise
高山 元気さん / 高山 紗代子さん(霧島市福山町在住)

自分たちらしいライフワークへと導いた 大正二年生まれの古民家との出会い

利便性にこだわらず
感性の赴く方へ

黒酢の郷として知られる福山町。錦江湾に面し、江戸時代には要所となる街道もあったことから商業港町として賑わっていました。あちこちに残る歴史の跡が、今は静かな町の風情を醸し出しています。そんな地域に2020年6月から暮らし始めた、高山元気さんと紗代子さん、そして愛猫のどんべえ。

「家業の手伝いのため、東京から薩摩川内市へUターン。夫婦ともWebデザインの仕事に勤めており、帰郷のタイミングで妻はリモートワークで仕事を続け、私は独立して個人事業者に。ただ東京には定期的な出張があったので、空港近くに住めば便利だと考えたんです」。

ただ、福山町から空港まで高速道路を使っても片道35分ほど。利便性を優先すると、もっと中心地寄りという選択もありそうです。そんな中

で移住先を決める大きな後押しとなったのは、大正2年に建てられたという現在の住まいです。

空き家バンクで 運命の建物とマッチング

住まいを決める際、新築・マンション・古民家のいずれかを考えていたそう。手始めに『霧島市古民家』などのキーワードで検索をかけ、この家を見つけたのが紗代子さん。実際に訪れてみると、まさに一目惚れだったといいます。

「まず、地域の雰囲気が好きで感じました。国分ICを降りて国道220号に入り、亀割峠を超えたとたん時間の流れが緩やかに感じる。建物で惹かれたポイントが、天井が高くて抜けがいいところ。ここでの暮らしのイメージがすぐに湧いたし、クリエイティブな仕事を続ける環境にピッタリだと。築100年以上経つため、購入後は構造的な

環境の変化で見つけた 新しい自分たちらしさ

一方で、移住してからの様々な出会いに刺激を受けて、2021年6月には廃プラスチックを再利用する新規事業『Reprise』を発足。新しい取り組みへの期待感にも胸をふくらませています。「きっかけは南さつま市にあるダインミックラボという市民工房で参加したワークショップでした。ゴミを使えるものに再生させるのが、単純に面白そうだなと(笑)。以前か

ら造形系のものづくりに興味があり、廃プラスチック再生のワークショップを経て、漠然としていたのが明確になった感じです」。

敷地内の作業場に置かれていたのは、原料のプラスチック(ペットボトルのキャップや漁で使ったロープなど)を細かく砕く機械と、粉碎した原料を熱と圧力で成形する機械。成形後は薄い板状や棒状になり、高山邸では板状のものをそのまま障子紙代わりに使ったり、柔らかな棒状で成形されるタイミングを狙ってランプシェードにデ

ザインしたりと、アーティスティックな試作品が生まれていました。「私が最初に体感した、捨てられるものが作品に変わる。その面白さや感動を、作品やワークショップを通じて伝えたいなあと思っています」。

一生をかけて究めるもの・ことをライフワークと言いますが、元気さんと紗代子さんにとってはRepriseの活動がライフワークに当たるもの。「やるなら楽しく!」をモットーに進む二人の今後の発信に注目していきましょう!

問題がないかの調査と改修を民家再生協会がごしまに依頼。私たちのリクエストも盛り込んで、DIYもしながら居心地のいいスペースを育てています」。

道路を挟んだ向こうは錦江湾。紗代子さんの仕事部屋の窓からも、お気に入りのゆったりとした景色を見ることが出来ます。「静かな夜は、ときおり通る車の音が波音に聞こえる」と笑うほど、これまでとは異なる環境を心から楽しんでお二人です。



1天井高を活かす開放的なLDK。大正2年築のこの家は、翌年の桜島大正大噴火で火山灰に埋もれた経験アリ! 2Repriseが手がけるのはゴミを再利用するものづくり。ワークショップなども進めていく。3ライフワークとライスワークのバランスを取りながら「やるなら楽しく!」と話す元気さんと紗代子さん。4庭の石蔵で廃プラスチックの再生・加工を行う。なんとも風情のある作業場だ。5溶かした廃プラスチックを押し成形機にかけシート状にプレスしたもの。高山家では障子紙の代わりに使われている。6個性的なランプシェードも廃プラスチックから生まれた作品の一つ。

合同会社 Reprise
(リプライズ)

霧島市福山町福山 2662



Reprise
公式サイト





守友 寅次郎さん / 守友 敏代さん(霧島市溝辺町在住)

興味の行く先が仕事や地域貢献に！ 幸福度を高める暮らしを獲得

直感とつながりが
霧島市移住の決め手に

2020年秋に神奈川県から溝辺町へ移住した守友さん家族。妻の敏代さんは霧島市で育ち、ご両親が暮らす実家もあります。夫の寅次郎さんも長期休暇を敏代さんの実家で過ごすうち、おおらかな風土や自然豊かな環境を心地よく感じていました。移住を決める直前の夏休みには、霧島市内で住宅の下見を開始。そこで当時はまだ参考程度に探していた寅次郎さんの気持ちは、ググッと高まる物件に出会ったのです。

「今住んでいる部屋がそれ。造りがユニークで、ここに住みたいって溝辺町を選んだと言っているくらいです(笑)。DIY可能な賃貸物件で、前の居住者が手を加えた場所もそのまま。私は入居後に玄関ドアを造作しました」。

実は寅次郎さんの職業は建築士。神奈川では会社員として働いていま

したが、結婚を機に個人事業者へ。移住後も前職場の外注スタッフとしてリモートで仕事を続けています。

好きなコト・モノから
交流の輪を広げていく

「とはいえ地場の仕事を増やす努力も必要です。まずは地域の人と接点を作ろうと、霧島市主催のリノベーションスクールに参加。内容は、遊休物件をまちおこしにつなげるプログラム。チームで課題の解決に取り組む中で、地域貢献に熱心な人や地元の企業様との出会いもありました。これが縁でコミュニティが任意団体『縁紡ぎ』を結成し、『えんがわマルシェ』というイベントに発展。するとDIYや古民家再生に関する興味がますます深まり、関連のワークショップでコミュニティ大工という存在を知ること。これは主に古民家などの改修を専門にして、地域貢献につなげる仕事。私もそんな

仕掛けづくりができればと、現在はコミュニティ大工の仕事もこなしています」。

「えんがわマルシェ」では、寅次郎さんと敏代さんの好きなクラフトビールの屋台を出しているとか。好きなコト・モノを通じて、地域や人との交流を広げていくスタイルは、移住先でまちづくりに参加したいと考えている人の参考にもなりそうです。

「霧島市に暮らす人は、何かしうとポジティブに動く人が多い印象。民間での取り組みに霧島市のサポートが加わるパターンも多く、官民の連携の良さを実感しています」。

家族という共同体を
中心に生活を組み立てる

寅次郎さん中心で話をうかがってききましたが、敏代さんも前職のスキルを活かした食品系の仕事を継続中です。娘さんにアトピー性皮膚炎の症状があることから、食事療法にも取り組んでおり、将来的には知識・経験を生かしてフリースクールの給食調理に関わりたい希望があるそう。また、寅次郎さんがコミュニティ大工を請け負う際の提案書を作成したり、まかないご飯を作ったりと共同作業も少なくありません。時間やエリアに縛られない働き方を

得たことで、守友家はこれまで以上に子供を中心としたライフスタイルに変わっていききました。

「夫と共同して育児ができるのは大きなメリット。仕事と家庭、どちらにも重心を置いてバランスよく進められています。暮らしている場所の環境も想像以上に良いんですよ。裏にある畑のおおあちゃんが娘と仲良くしてくれて、おすそ分けの野菜をもらうことも。空港が近いから、大好きな飛行機も見放題(笑)。二人とも会社員だった頃と忙しさに変化はないけれど、生き方の充実っぷりが全然違いますね」。

ちなみに敏代さんは、移住後の生

活であることと無縁に。田舎暮らしでは必須と思われるそれは…

「マイカーの運転です。移動は公共バスを使っています。特に食材はこだわりが多く、基本的にネットで購入するので買い物の不便さは感じませんね。いざという時は夫が協力してくれるので安心。私みたいに、運転しない移住者がいるモデルケースも面白いんじゃないでしょうか(笑)」。それぞれが興味を持つ、コト・モノを仕事や暮らしの楽しみに結びつけて、アクティブに活動する寅次郎さんと敏代さん。守友家の幸福度は、これからも天井知らずで上がっていくそうです。



1 寅次郎さんのワークスペース。手に届く範囲にモノが置けるタイトさが魅力なのだとか。2 製図は手描きやCADを使って。実はコミュニティ大工として『横川kito』のゲストハウスにも参加。3 『えんがわマルシェ』を通じて、自分たちらしい活動やライフスタイルを広げている寅次郎さんと敏代さん。4 周囲に民家が少ない立地で、リビングダイニングの日当たりは抜群♪子供もびのび過ごせる環境だ。5 空港のすぐ近くにある小さな公園は守友家行きつけの場所。6 仕事もプライベートも大事にしながら、幸福度の高い暮らしを満喫している。



MORITONOKE





1 ねっこ外観 2 ねっこ内観

農士家園
霧島市牧園町高千穂 3170
TEL: 0995-76-2825



移住体験住宅「ねっこ」予約サイト

のどかえん
農士家園
和田 新さん(霧島市牧園町在住)

霧島は地域資源に恵まれた楽しいまち！ これからの「楽しい仕掛け」に乞うご期待！

霧島市を盛り上げるため Uターン！

『心の故郷(ふるさと)を守ってこよう！』を理念に地域おこしをされている和田さん。東京農業大学を卒業して神奈川県で就職後、2018年に「地元を盛り上げたい！」と牧園町にUターンした農家さんです。霧島には良い意味で余白があります。そのため何かに挑戦するには良い地域。新しいことを始めると、人との繋がりも増え、応援してくれる人も現れます。また、住んでいるだけで地域の方から喜んでもらえます。Uターン前よりも不便なことが増えているはずなのに、心は豊かになりました。

農家になった理由の一つ目は祖父母が後継ぎに困っていたこと、二つ目は地域の魅力を発信するにあたり、牧園は高品質な農産物が育ちやすい気候なので、農業を手段として地域の魅力を発信していけると思ったことが理由です。農士家園はおいしいモノを育てることをゴール

とせず、食べた人が『おいしい！』と感動し、ついでに「地域・里山の魅力について興味をもってくれらることを一つのゴールとしています。

移住体験住宅をオープン！

「移住者が多い霧島市。いきなり見知らぬ土地に移住するのはとても勇気がいります。」と和田さん。そこで和田さんは親戚の空き家を地元や市役所の方とリノベーションして移住体験住宅「ねっこ」を2021年10月にオープンさせます。利用者の声として「生活に必要なものが揃っている」「超高速ブロードバンドがあるので、中山間地域でも仕事ができる助かる」「移住前に地域の方と繋がりが持ててありがたい」と大好評です。霧島市はこれからどんどん面白くなる町です。その中でも牧園は『わざわざ訪れたくなる町』になれる資質をもっていますし、また活動的な面白い人もたくさんいます。皆さんも霧島市に来て新たなことにチャレンジしてみてくださいいかが？



1 本日の日替わりランチは手作り餃子。使用野菜すべてが自家製！ 2 手作り感あふれる店内。店内は広く座敷もありゆっくりくつろげます。夜は赤提灯に！

たかぜバル
霧島市溝辺町竹子 607-1
TEL: 0995-59-2380



Facebook

TAKAZEES

たかぜバル
竹元 磨貴子さん(霧島市溝辺町在住)

私生まれ育った東京と、鹿児島 の魅力を発信し二拠点生活で進めていけたら

地域おこし協力隊として チャレンジ！

お茶や米、ぶどうが名産の溝辺町竹子(たかぜ)は鹿児島空港から北へ20分の場所にあります。2020年8月に東京から地域おこし協力隊として竹子に着任した竹元さん。霧島市を選んだ理由は、「旅行で鹿児島を訪ね雄大な自然や食べ物に魅了され、家族全員鹿児島にはまりました。その後長男は「地域ミライ留学」制度で奄美の高校に。その矢先霧島市の協力隊募集が」と竹元さん。これも何かの縁と感じ協力隊としてチャレンジすることを決意。前職は銀行や旅行会社添乗員などで勤務。その経験を生かし商品開発やプロモーション、移住・交流支援など過疎化が進行している竹子を元気にするために日々奮闘しています。

交流拠点「たかぜバル」オープン

2021年7月空き倉庫を改修してふれあいサロンをオープン。

ステージにもなる座敷もあり憩いの場となっております。昼は地元の方が腕を振るい竹子産野菜を使用した日替わりランチを提供。時季の農産物を使用し、「初物だ！」と皆さん喜んでくださいます。想いが人を繋ぎ広がることで、地域の活性化に繋がります。そのためには、地域資源の活用、UIJターン促進など地域おこしに寄与できる事業の展開、皆が楽しめる場所、人材が必要です。まずは竹子の魅力発信できる、交流拠点を目指します。

霧島市は空港があり東京からの日帰りも可能です。そして日本の原風景があり、四季の味覚と気候を感じられる場所。「生まれ育った東京と魅力いっぱい鹿児島、お互いのいいものを発信し二拠点生活で進めていけたら」と竹元さん。東京の自宅を改修してアンテナショップを新たに作るなど、たかぜバルと双方で交流できる仕組みづくりを検討しています。

移住・定住サポート

仕事

UIJターン者の求人情報

ハローワーク国分（国分公共職業安定所）では、仕事を探している方にその希望と能力に適合した仕事を紹介しています。本市には誘致企業が約 100 社あり、食品・機械製品・観光業・空港関連など多彩なジャンルの職場があります。

詳しい求人情報をご覧になりたい方は直接ハローワーク国分などにご相談ください。

■お問い合わせ先

ハローワーク国分（国分公共職業安定所）
霧島市国分中央一丁目 4-35（JR 国分駅徒歩 5 分）
TEL: 0995-45-5311

霧島わかものハローワーク ※年齢に関係なく、どなたでもご利用できます。
霧島市隼人町見次 1229（イオン隼人国分店 2 階）
TEL: 0995-64-2251



鹿児島県が運営している就職情報サイト「かごJob」もありますのでぜひご覧ください→
※移住支援金対象求人の検索をすることができます。

移住・定住サポート

住宅・土地

■住宅(空き家)及び土地の情報

霧島市では、住宅を探している方に霧島市空き家バンク、市営住宅、宅建協会、不動産協会の空き家情報を提供しています。また、市や開発公社が販売している分譲地もありますのでご利用ください。

住宅などの情報はこちらから検索してください→



市の分譲地情報

- 溝辺宅地分譲地(溝辺)
- 丸山前団地(横川)
- 赤水団地(横川)
- 第2赤水団地(横川)
- 牧園中央団地(牧園)※商業用地もあります
- 中津川団地(牧園)
- 万膳住宅用地(牧園)
- 戸崎団地(霧島)

霧島市土地開発公社の土地情報

- 塚脇団地(国分)
- 牧之原高原団地(福山)
- 姫城地区宅地分譲地(隼人)
- 浜之市宅地分譲地(隼人)

大和ハウス工業(株)の分譲地情報（霧島市は大和ハウス(株)と移住定住の促進に関し協力協定を締結しています。）

- ロイヤルシティ霧島妙見台(牧園)
- 高千穂リゾートランド(霧島)

移住を決める前のお試し滞在

移住に興味のある方を対象に、本市の魅力を知って頂くための移住体験研修を年 2 回程度開催しています。2泊3日の行程で農業体験、移住者宅訪問、空き家バンク物件巡りなどの内容です。また、霧島市内の地理や物件案内も随時行っていますのでお気軽にお問い合わせください。

その他の移住・定住サポートについては別冊「霧島市移住支援一覧」をご覧ください→

※「移住支援一覧」の郵送も可能ですのでお気軽にお問い合わせください。



※詳しくは、地域政策課・中山間地域活性化グループ（TEL: 0995-64-0952）までお問い合わせください。

霧島市でテレワーク!

霧島市は 市内全域に超高速ブロードバンドが整備されています。

そのためどの地域に住んでも 快適にテレワーク をすることができます!

また コワーキングスペースも充実しているので、

気分転換や利用者同士のコミュニティ形成が期待できるコワーキングスペースでのテレワークもおすすめてです!

空港 がある、恵まれた 自然 環境がある、超高速ブロードバンド がある本市で、

ぜひ皆さんの ライフスタイル に合った、多様な働き方 をしてみてください!



数年前から夫婦で「自然と距離の近いところで子育てができればいいね」という話をしていました。そして親友が鹿児島にUターン移住し、「鹿児島も面白そうだな」と思っていたものの、仕事もあるから難しいかなあという状況が何年か続いていました。

そんな中、コロナ禍もあり私(夫)の仕事がリモート中心になったこと、第二子の出産を機に妻の仕事と暮らしの価値観が変わってきたこと、親友に鹿児島の魅力的な経営者等の皆さんとご縁を繋いで頂いたこともあり、移住することにしました。

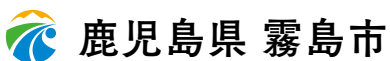


令和3年10月 東京から霧島市に移住された池田さん一家

鹿児島の中でも霧島市に移住したのは、子どもを通わせたい保育園があったこと、実家から離れてしまう(夫婦とも実家は関東)中で、生活が不便すぎないエリアにしたいという理由からでした。移住前に何度か足を運び、生活に必要なものはほとんど近くで買い揃えられるし、コワーキングスペースなどもあり、仕事をする場所にも困らないかなあという印象を持ちました。

実際移住してみて、広い空や桜島を見ながら保育園の送迎をするのも気持ちよいですし、少し車を走らせれば海も山も温泉も豊富にあつて、大満足しています。

きりしま 霧島市 \ 移住応援 / ガイドブック
ストコ



発行／霧島市企画部地域政策課 中山間地域活性化グループ

〒899-4394鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号 TEL: 0995-45-5111 FAX: 0995-47-2522

<http://www.city-kirishima.jp/hisyokouhou/shise/ijuteju/index.html>

霧島市 移住定住情報

